

Series

## 私の漢方診療日誌

### No.126 一休さんと知恵比べ 夢の中のトラを追い出す抑肝散加陳皮半夏

暑くて寝苦しい夜が続きます。こんな夜に、ようやく寝たのに不愉快な夢をみて、なかなか休まらないという患者さんはいないでしょうか。今回は、悪夢を追い払う薬のお話です。

#### 一休さんと知恵比べ 夢の中のトラを追い出す抑肝散加陳皮半夏

E子さんは、お子さんに呼吸障害がありずっと病院通いをしています。さらに最近、認知症が進んできた実のお母さんが大腿骨骨折で入院してしまいました。もともと、お子さんの気管吸引のために、夜間でも短時間で繰り返し起きなければならないのですが、わずかな睡眠時間中も、毎晩、虎に追いかけられる夢を見て熟睡できないと訴えます。以前にも、頭痛や腹痛など体調が悪いとき、漢方薬で治療したことがあったので、今回も「夢の中の虎をなんとかして欲しい」というのです。一休さんのとんち話に「絵の中の虎が夜な夜な出てきて悪さをするので、退治しろ」というエピソードがあったのを思い出しました。手に縄を持って、「それなら夢の中から虎を追い出してください」とか、頭にネットをかぶせて「これでもう虎は出てこられません」とか言おうかと一瞬思いましたが、そんな冗談を受け入れる余裕はなさそうでした。診察すると、腹力は非常に弱いのですが、お腹にそっと手を置いただけでも痛がるくらい心窩痞鞭（しんかひこう）と左右の胸脇苦満があります。さらに、腹直筋攣急があり、お臍の脇には大動脈の拍動もしっかり触れました。脈は、弓の弦を弾くような肝気の鬱滞を示す脈で、脈拍も多い数脈（さくみやく）です。舌は白く苔がついていますし、舌が浮腫んで歯の痕が付く歯痕舌でした。広い範囲の胸脇苦満から、抑肝散（TJ-54 ヨクカンサン）も考えられるのですが、明らかに虚証で脾胃も弱そうなので、抑肝散加陳皮半夏（TJ-83 ヨクカンサンカチンピハンゲ）を、夜寝る前に1包投与しました。すると内服した夜から、夢に虎が出なくなり、目覚めがすっきりしたということでした。

抑肝散加陳皮半夏は、江戸時代のわが国で作られた処方で、抑肝散に陳皮と半夏を加えたものです。抑肝散の適応状態に悪心、嘔吐など消化器症状と白い舌苔がみられ、痰湿の存在を認める場合に使われます。効能・効果では、「虚弱な体質で神経がたかぶるものの次の諸症：神経症、不眠症・・・」とあります。益田総子先生によると抑肝散加陳皮半夏の

効く人たちの特徴として、①性別、年齢、証を問わない、②不眠、イライラが続いている  
③現在進行形で肉体的、精神的な被害を受けている、④本人の立場の強さ、白黒に関係ない（客観的には悪人にも効く）、⑤効けば劇的！効かないなら、それほど被害をうけていないか、本当は加害者、⑥腹証：腹直筋の緊張、臍傍の大きな拍動、をあげています。特に肉体的、精神的被害者という点が大事だと思います。こうした視点から、私は受験生や不登校の子供の不眠症にも応用しています。問診で、どんな夢をみるか質問するのですが、それはそれは壮絶な内容を聞かせてくれます。たとえば、チェーンソーを持った人に追いかけられるとか、ヘルメットをかぶった骸骨が斧で木を切っているとか、階段が血まみれで、内臓が散らばっているとか、恐怖映画さながらです。現代の子供の心の荒廃や恐怖が映像化されるのでしょうか。その中で、一番怖そうな夢をご紹介します。ある不登校の中学生の女の子が言いました。「夢の中で、昔の担任の先生が私を拉致しようと追いかけてくるんです。」「どこへ連れていかれるの？」「・・・小学校の教室へ。」

